

1 単元名 短歌の世界

2 単元の目標

○易しい文語調の短歌について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすることができる。 [伝国・言語についての知識・理解・技能]

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	言語についての知識・理解・技能
・気に入った歌について、季節や情景、こめられた思いなどを想像しながら読もうとしている。	・短歌のリズムや文語の響きに興味をもち、音読を楽しんでいる。[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)]

4 単元について

(1) 本単元を貫く言語活動について

本単元では、「お気に入りの短歌を集めたクイズ大会を行う」という言語活動を設定する。

短歌は五・七・五・七・七とリズムよく構成されており、そのリズムを楽しみながら音読したり、短い言葉に託された情景や心情を想像して読んだりすることは、現代の文章とは違った楽しさがあるのではないかと考える。短歌に楽しみながら親しませていくために、教科書に掲載されている短歌の中からお気に入りの短歌を選んで「短歌クイズカード」を作成し、グループでクイズ大会を行う。お気に入りの作品を選んだりその理由を考えたりする活動や友達に紹介する活動は、児童の短歌に対する関心・意欲を引き出し、主体的に取り組もうとする活動につながるだろうと考える。「短歌クイズカード」にまとめる活動は、お気に入りの短歌のヒントを考えることで、その作品についてより深く想像することができ、大会をすることによって、楽しみながら音読することができるだろう。これらの活動により、[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア(ア)「易しい文語調の短歌について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりしている。】を実現することができると思った。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、お気に入りの短歌を集めたクイズ大会をする活動を行う。声に出して読むことを大切に指導することで、短歌のリズムや響きのよさに触れ、短歌に親しませていきたいと考えた。そこで、毎時間、授業のはじめに全員で声に出して読む時間を設ける。音読の仕方を工夫し楽しく取り組めるようにすることで、短歌のリズムや響きのよさを感じてさせたい。「短歌クイズ」においても、音読を必ず行うというルールを設定することで、さまざまな作品を音読する機会を作るようにし、声に出して読む心地よさを味わわせていきたい。

短歌のよさを感じるためには、短歌の情景や心情を想像しながら読むことが効果的である。そ

ここで、お気に入りの短歌をクイズにする活動を通して、短歌の季節感や情景、込められた思いを想像できるようにし。解説文や写真を参考にして短歌クイズカードにまとめていく。

単元のまとめの「短歌クイズ」の活動の際には、気に入った理由を交流することで、同じ短歌を選んでも、選んだ理由が同じだったり違ったりすることにもふれさせたい。

以上のような活動を通して、「短歌のリズムや響きを感じ取る力」「短歌に込められた思いや情景を想像する力」を身に付けさせたい。

### (3) (1) と (2) の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

#### ○短歌に触れる機会をふやす

単元に入る前に、短歌に関する本を教室に置き、日頃の読書の課題として活用していく。また、毎朝、先生のお気に入りの短歌を紹介する。『子ども版 声に出して読みたい日本語』（草思社）や『しきなみ子供短歌コンクール』（倫理研究所）などをもとに、作者や作品の背景についてわかりやすくかかれた書籍や、現代の生活についてかかれた親しみやすい書籍に触れることで、難しいと敬遠される児童が興味をもてるように工夫する。

#### ○お気に入り短歌カードの活用

気に入った短歌を見つけた際に、記入できるチェックカードを活用することで、気に入った理由を考えやすくなるだろうと考えた。①言葉のリズムや響きがよい ②作者の考えに共感できる ③表現の工夫が素晴らしい の3つの観点を提示し、5段階で記入させていくチェックカードを活用する。また、一言感想を書けるようにしておくことで、その子なりの理由がもてるようにしていきたい。

## 5 児童の実態（略）

## 6 単元の指導計画（全4時間）

時	学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
1	<p>○学習のめあてをつかむ。</p> <p>○短歌の特徴を知る。</p> <p>○時代の違う短歌六首を視写し、繰り返し音読をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柿本人麻呂の短歌を声に出して読み、言葉のリズムを楽しむことをおさえる。</li> <li>・ 短歌は五・七・五・七・七（三十一文字）できていることに気付かせる。</li> <li>・ 短歌の特徴をつかんだり、情景をイメージしたりすることもおさえる。</li> <li>・ 『短歌クイズ』を行うことを知り、お気に入りの短歌を見付けることをおさえる。</li> <li>・ 教師が範読して短歌の読み方を確かめながら、短歌を繰り返し音読させる。</li> </ul>

	<p>○お気に入りの短歌の理由を考える。</p> <p>○友達とお気に入りの短歌の理由を交流する。</p>	<p>◇学習の目当てをつかみながら、音読をとおして短歌の特徴を知ろうとしている。</p> <p>(発表、音読の様子、振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この時間には解説文は読まずに、『言葉のリズムやおもしろさをつかませる』ことを中心に学習を進める。</li> </ul>
2 ・ 3	<p>○それぞれの短歌を繰り返し音読する。</p> <p>○それぞれの短歌について解説文を読みながら、描き出す情景や心情を想像する。</p> <p>○お気に入りの短歌の理由を考える。</p> <p>○お気に入りの短歌の理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや響きを感じ取ることを大事にしながら、繰り返し音読するように促す。</li> <li>・写真を手がかりにして、言葉のおもしろさを想像させたり、どんな情景なのかを頭の中に思いうかべさせたりする。</li> <li>・六首のそれぞれに詠まれている心情や情景をつかませるために、解説と比べながら、五・七・五・七・七の大体の意味を捉えさせる。</li> <li>・今とは違う言葉や言い回しについては、解説を読んで丁寧におさえる。</li> <li>・この時間には解説文を読み、『短歌に込められた情景や心情』を想像することを中心に学習を進める。</li> </ul> <p>◇各歌についての解説文を読み、それぞれの情景や心情を想像しながら短歌を音読している。</p> <p>(音読の様子、感想交流、振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムや響き、情景や心情からお気に入りの見つける。その理由についてもまとめさせる。</li> </ul>
4	<p>○情景や心情を想像しながら、短歌を音読する。</p> <p>○『短歌クイズ』を行う。</p> <p>○学習全体を振り返って、感想を書く。</p> <p>○お気に入りの短歌と選んだ理由を紹介して、友達どうして感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムのよい暗唱を心がけるとともに、情景がわかるように読み方を工夫することを促す。</li> <li>・短歌クイズでは、短歌を音読する活動を取り入れることで、リズムや響きを楽しませる。</li> <li>・友達の発表を聞いて感じたことや、学習全体を振り返っての感想をまとめさせる。</li> <li>・単元全体の振り返りをさせる。・お気に入りの短歌ごとに発表をさせて、自分の感想と友達の感想を比べながら聞かせる。</li> <li>・同じ短歌を選んでも、理由が同じだったり違ったりすることに気づかせる。</li> </ul>

7 本時の目標と展開 (4 / 4)

(1) 本時の目標

○気に入った歌について、季節や情景、こめられた思いなどを想像しながら読もうとしている。

(関心・意欲・態度)

○『短歌クイズ』を通して、心情や情景を想像しながら、短歌の世界を楽しむことができる。

(伝国・言語についての知識・理解・技能)

(2) 本時の展開

学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
<p>○本時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時は、リズムや響きのよさや作者の情景や心情から、選んだ理由とお気に入りの短歌をクイズにすることで、短歌の世界を楽しむ時間であることを確認する。</li> </ul>
<p><b>お気に入りの短歌を紹介し合おう</b></p>	
<p>○リズムを意識しながら、何度も声にだして読む。</p> <p>○お気に入りの短歌とその理由を『短歌クイズカード』にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの良い暗唱を心がけるとともに、情景がわかるように読み方を工夫することを促す。</li> <li>◇気に入った歌について、季節や情景、こめられた思いなどを想像しながら読もうとしている。</li> <li>・お気に入りの短歌一首を選ばせて視写させ、選んだ理由を含めた感想を『短歌クイズカード』にまとめさせる。</li> <li>・選んだ理由は、クイズのヒントとなるため、短歌の一文や作者の名前は出さないようにさせる。</li> <li>・理由が考えられない児童には、『お気に入り俳句・短歌カード』を活用し、どのような観点で理由を書けばよいのかを気づかせる。</li> <li>・短歌のイメージを色や音で表すことを伝える。</li> <li>・今までの学習してきたワークシートをもとにクイズカードの内容を考えさせる。</li> <li>・ヒントが違っていた場合は、情景についての話し合いを行うように促す。</li> <li>◇心情や情景を想像しながら、お気に入りの短歌を選んで短歌の世界を楽しむことができる。</li> <li>・短歌クイズ大会では、教科書を見てもよいとする。</li> <li>・解答は短歌を読むことにする。正解であった場合、班全員で音読する。</li> </ul>
<p>ヒント①この短歌を色で表すと水色です。</p> <p>ヒント②この短歌を音で表すと「あっ」です。</p> <p>ヒント③母が軽くなったことへのかなしみを隠せない作者の気持ちがとても心に残りました。</p>	
<p>ヒント①この短歌を色で表すと橙色です。</p> <p>ヒント②この短歌を音で表すと「ザザーン」です。</p> <p>ヒント③華やかだった季節がすぎ、小屋だけがあるさみしい浜辺の情景が頭に浮かびました。</p>	

○『短歌クイズカード』を使って、短歌クイズ大会を行う。(4人グループ)

《短歌クイズのルール》

- ①答えるときは、選んだ理由を答えてから、解答する。
- ②解答はさせるが、正解発表はヒントをすべて言い終わってから行う。
- ③最後は、班全員で音読をする。

○全体で短歌クイズを行う。

○学習全体を振り返っての感想をまとめさせ発表をする。

- ・他の班のクイズも楽しむことで、様々なお気に入りの理由に触れられるようにする。
- ・全員で声を合わせて読むことで、リズムや響きの心地よさを感じられるようにする。
- ・自分の感想と友達の感想を比べながら聞かせ、感じ方の違いに気付かせる。
- ・友達の発表を聞いて感じたことや、学習全体を振り返っての感想をまとめさせる。
- ・同じ短歌を選んでも、理由が同じだったり違ったりすることに気付かせる。

(3) 資料

感想	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 50%; padding-left: 5px;">リズムやひびき もう少し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="padding-left: 5px;">作者の考えに共感 もう少し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="padding-left: 5px;">表現のよさ もう少し</td> </tr> </table>	5	4	3	2	1	リズムやひびき もう少し	5	4	3	2	1	作者の考えに共感 もう少し	5	4	3	2	1	表現のよさ もう少し	<p style="text-align: center;"><b>お気に入り俳句・短歌カード</b></p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">全まえ</p>
5	4	3	2	1	リズムやひびき もう少し															
5	4	3	2	1	作者の考えに共感 もう少し															
5	4	3	2	1	表現のよさ もう少し															

(お気に入り俳句・短歌カード)

感想	<p>お気に入り度 1 ふつう 2 すき 3 だいすき</p>	<p style="text-align: center;">この短歌を色や音で表すと…</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <p style="text-align: center;">情景</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">短歌の情景と心情を想像しながら、短歌の世界を楽しもう。</p>
----	---	---

(ワークシート)

感想	<p>ヒント① 短歌を色や音で表すと…</p> <p>ヒント② この短歌の情景は…</p>	<p style="text-align: center;">ふりかへり「短歌の世界」を音で…</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 5px;">短歌クイズカード お気に入りの短歌をしようかいし合おう。</p>
----	---	---

(短歌クイズカード)

# 短歌クイズカード

お気に入りの短歌をしようかいし合おう。



ヒント① 短歌を色や音で表すと・・・

ヒント② この短歌の感想は・・・

ふりかえり 「短歌の世界」を学習してみてください・・・

短歌をつくらう

7

5

7

7

5

短歌をつくらう

7

5

7

7

5

短歌の情景と心情を想像しながら、短歌の世界を楽しもう。

お気に入り度

- 1 ふつう
- 2 すき
- 3 だいすき

この短歌を色や音で表すと……

情景

感想

